

しがけん ぶんか しんこう きほん ほうしん
滋賀県 文化振興 基本方針

だい じ そ あん
(第4次) 素案

ばん
～わかりやすい版～

れいわ ねん がつ
令和7年10月

しがけん
滋賀県

その1

しがけん ぶんか しんこう きほん ほうしん 滋賀県 文化振興 基本方針 って、なに？

きほん ほうしん つく りゆう きかん ぶんかげいじゅつ はんい せつめい
基本方針を 作る 理由や 期間、文化芸術の 範囲などについて、説明します。

その2

ぶんかげいじゅつ かつどう ばしょ じゅんび ととの 文化芸術 活動が できる場所や 準備は 整っているの？

ぶんかげいじゅつ かつどう たの かた へんか ぶんかげいじゅつ かつどう あんけーと けっか せつめい
文化芸術 活動の 楽しみ方の 変化や 文化芸術 活動についての アンケート結果を 説明します。

その3

ぶんかげいじゅつ ちから し が けん げんき たの 文化芸術の 力で 滋賀県を 元気で 楽しく するために、なにをしたの？

しがけん と く と く せつめい
滋賀県が これまでに 取り組んできたこと、これから 取り組まなければ いけないことを 説明します。

その4

しがけん ぶんかしんこう きほん ほうしん だい じ もくひょう 滋賀県 文化振興 基本方針（第4次）の 目標って、なに？

しがけん めざ もくひょう もくひょう と く かんが かた せつめい
滋賀県が 目指す 目標と 目標を かなえるために 取り組むことの 考え方を 説明します。

その5

もくひょう 目標を かなえるために、これから なにをするの？

しがけん と く もくひょう すうじ せつめい
滋賀県が これから 取り組むこと、 目標とする数字について、説明します。

その6

きほんほうしん すす 基本方針を 進めるために、 なにをするの？

きほんほうしん すす し が けん ぶんかしせつ いっしょ と く せつめい
これから 基本方針を 進めるために、滋賀県が 文化施設などと 一緒に 取り組むことについて 説明します。

しがけん ぶんかしんこう きほんほうしん 滋賀県 文化振興 基本方針 って、なに？

きほんほうしん つく りゆう 基本方針を 作る 理由

うた だんす ぶんかげいじゅつ わたし かんどう あんしん きも
歌や ダンスなどの 文化芸術は、 私たちに 感動や 安心して ほっとする気持ちを くれるものです。

そして、いろいろなことに きづく ちから あたら かんが ちから そだ
そして、いろいろなことに 気づく 力や 新しいことを 考える 力を 育てます。

なかに よ たす あ たが わ あ
さらに、みんなが 仲良く 助け合ったり、 お互いに 分かり合える きっかけにも なります。

ぶんかげいじゅつ ちから しがけん げんき たの きほんほうしん つく
文化芸術の 力で 滋賀県を 元気で 楽しく するため、基本方針を 作ります。

きかん 期間

れいわ ねんど ねんど れいわ ねんど ねんど ねんかん ほうしん
令和8年度（2026年度） から 令和12年度（2030年度） までの 5年間の 方針です。

ぶんかげいじゅつ はんい 文化芸術の 範囲

げいじゅつ しょうせつ おんがく びじゅつ こうげい しょうどう しゃしん げき しばい おど ばれえ だんす
○ 芸術（小説、音楽、美術や工芸、書道、写真、劇やお芝居、踊り（バレエやダンスなど）、

えいが まんが あにめ
映画や 漫画、アニメなど）

ちいき う つ ぶんかてき しさん たてもの どうぐ ぶんかざい でんとう むかし ひと く ほうほう さどう
○ 地域で 受け継がれてきた 文化的資産（建物や 道具などの 文化財、伝統や 昔の人たちの 暮らしの方法（茶道、
かどう しょうどう しょくぶんか
華道、書道、食文化など）

ばしょ す ひと いっしょ けしき やま かわ こ まちな
○ その場所に 住む人たちと 一緒に つくられてきた すてきな景色（山や 川、びわ湖、街並みなど）

ぶんかげいじゅつ かんけい ふく あたら そうぞう ぶんかげいじゅつ ふく
そのほか、文化芸術と 関係することも 含みます。また、新しく 創造される 文化芸術も 含みます。

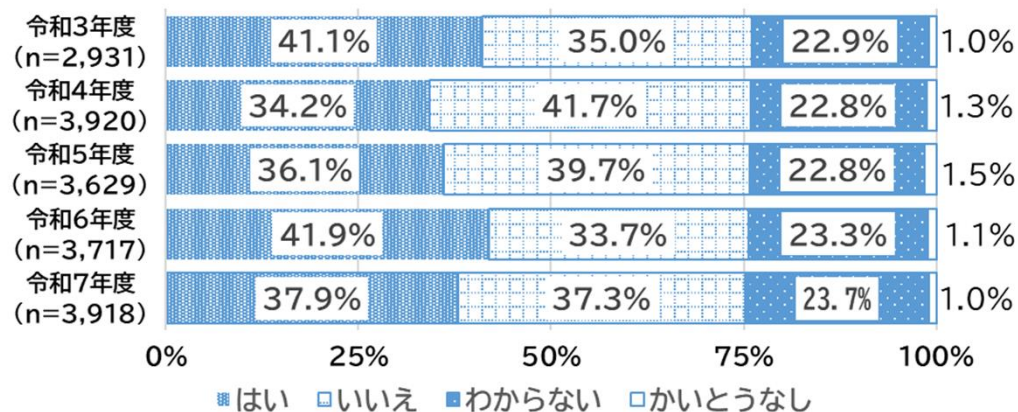
文化芸術活動ができる場所や準備は整っているの？

新しい文化芸術の楽しみ方

- たくさんの人がスマートフォンを使うようになり、音楽や劇などの公演がライブ配信され、いつでも、どこでも、文化芸術を楽しむことができるようになりました。
- また、無料で見られる動画や毎月決まったお金で、音楽や映画が楽しめるサービスが出てきたことで、もっと簡単に、文化芸術を楽しむようになりました。

文化芸術活動についてのアンケート結果

文化芸術活動に取り組むことができると感じましたか



【参考】第54回～第58回 県政世論調査

文化芸術活動ができる場所や準備がそろっていると
思う人は、だいたい40%くらいです。

これまで しがけん と く 滋賀県が 取り組んだこと

- しゅわつうやく じまく つ しょうがい ひと ぶんかげいじゅつ かんしょう たす まーく つく 手話通訳や 字幕を 付けるなど、障害のある人の 文化芸術の 鑑賞を 助ける マークを 作りました。
- ほーる こ じぎょう おこな おお こ げいじゅつ かんどう たの つた 「ホールの子 事業」を 行い、多くの 子どもたちに 芸術の 感動や 楽しさを 伝えました。
- ぶんかげいじゅつ かつどう ひと そうだん ばしょ あーと まどぐち べんきょうかい ひら 文化芸術の 活動を する人が 相談できる 場所（アートの 窓口しが）や 勉強会などを 開きました。
- すば さくひん ひと ぶんかげいじゅつ しがけん げんき ひと しがけんぶんかしょう 素晴らしい 作品を つくった人や、文化芸術で 滋賀県を 元気にした人に 滋賀県文化賞などを おくりました。
- ひこねじょう せかいいさん とうろく めざう と く 彦根城の 世界遺産の 登録を 目指して、取り組みました。
- まぼろし あづちじょう ふくげん ぷろじえくと あづちじょうこうこはくぶつかん あたら あぶり つく 「幻の 安土城」 復元プロジェクトで、安土城考古博物館を 新しくしたり、アプリを 作りました。
- こ ぶんかげいじゅつ たいけん いべんと ひら しょうがい ひと さくひん てんらんかい 子どもが 文化芸術を 体験できる イベントを 開いたり、障害のある人が つくった 作品の 展覧会（ぴかつtoアート展）を開きました。

かんしょう たす まーく れい
【鑑賞を 助ける マークの例】



うけつけ ひつだん
受付で 筆談します。



じまく
字幕が あります。



あーと まどぐち ろごまーく
「アートの 窓口しが」の ロゴマーク



と あーとてん ようす
ぴかつto アート展の 様子

これから しがけん と く
滋賀県が 取り組まなければ いけないこと

- せいべつ ねんれい しょうがい す ばしょ かんけい だれ じゆう あんしん ぶんかげいじゅつ
性別、年齢、障害の あるなし、住んでいる 場所に 関係なく、誰でも、いつでも 自由に 安心して、文化芸術を
たの ばしょ ひつよう
楽しめる 場所が 必要です。
- こ わかもの ぶんかげいじゅつ たの ばしょ ひつよう
さらに、子どもや 若者が 文化芸術を 楽しめる 場所が 必要です。
- すまーとふぉん でじたる つか ひと ぶんかげいじゅつ たの ひつよう
スマートフォンなどの デジタルを 使って、たくさんの人が 文化芸術を 楽しめるように することが 必要です。
- ぶんかげいじゅつ と く ひと かつどう たす ぶんかげいじゅつ す
文化芸術を 取り組む 人たちが これからも ずっと 活動できるように、助けることや 文化芸術を 好きになって、
おうえん ひと ふ ひつよう
応援してくれる人を 増やすことが 必要です。
- ひと いっしょ きょうりょく と く ひつよう
いろいろな人と 一緒に 協力して、取り組むことが 必要です。

しがけん めざ もくひょう
滋賀県が 目指す 目標ぶんかげいじゅつ ちから こころ ゆた かつりよく しが つく
文化芸術の 力で 心 豊かな 活力ある 滋賀を 創るたの ぶんかげいじゅつ ちから げんき こころ しあわ しが
みんなが 楽しめる 文化芸術の 力で 元気 いっぱいで 心が 幸せになれる 滋賀を つくります。もくひょう と く かんが かた
目標を かなえるために 取り組むことの 考え方1 ば ひろ いんくるーしぶ ぶんかげいじゅつ すいしん
場を 広げる（インクルーシブな 文化芸術の 推進）ぶんかげいじゅつ たの う も たいせつ けんり
文化芸術を 楽しんだり、 つくったり することは、 みんなが 生まれつき 持っている 大切な 権利 です。ぶんかげいじゅつ そうぞう かん こころ そだ
また、文化芸術は、 いろいろなことを 創造したり、 感じたり する心を 育てます。くに ひと なんさい しょうがい かね
だから、どこの 国の人でも、何才でも、障害があっても なくても、お金が あっても なくても、す びょうどう じぶん ぶんかげいじゅつ たの かんどう
どこに、住んでいても、 みんなが 平等に 自分らしく 文化芸術を、 楽しみ 感動できるように、でじたるぎじゅつ つか いんくるーしぶ ぶんかげいじゅつ めざ
デジタル技術※1を 使って、インクルーシブ※2な 文化芸術を 目指します。でじたるぎじゅつ コンピューター じしん まな えーあい じんこうちのう あたら ぎじゅつ
※1 デジタル技術は、コンピューター 自身が 学ぶことが できる AI（人工知能）などの 新しい 技術のこと。いんくるーしぶ ぶんかげいじゅつ しょうがい う くに ねんれい ちが みと だれ たの ぶんかげいじゅつ
※2 インクルーシブな 文化芸術は、障害のあるなしや 生まれた 国、年齢などの 違いを 認め、誰もが 楽しめる 文化芸術のこと。 6

2 人を 育み、 支え、 つなげる（文化芸術を 未来に つなぐ）

文化芸術が これからも ずっと 発展するよう、 普段から 文化芸術を 楽しむ 応援者（ファン）を 増やし、広める
とくみ すす
取組を 進めます。

そして、 文化芸術をする人、 守り続ける人、文化芸術と 社会の 橋渡しを する人など 文化芸術に 関わる人を
そだ ふ めざ
育て、増やすことを 目指します。

3 滋賀の 魅力を 高める（文化的資産や 文化芸術の 魅力の 再認識 および 価値の 創造）

滋賀県では、 これまでから 文化的資産に 旅行に 来てもらったり、 糸賀一雄さんたちが 始めた 障害のある人の
ぶんかげいじゅつ かつどう と く がっこう ぷろ げいじゅつか よ こ ぶんかしせつ い
文化芸術 活動に 取り組んだり、学校に プロの芸術家を 呼んだり、子どもたちが 文化施設に行ったり、

ほかの分野と 一緒に 取り組んで きました。 これからも、文化芸術を 観光や 福祉、まちづくりなど いろいろな人と
きょうりよく ぶんかげいじゅつ すば かつ やくだ しが みりよく たか と く
協力し、文化芸術の たくさんの 素晴らしい 価値を 役立てて、滋賀の 魅力を 高めるため 取り組みます。

1 場を 広げる（インクルーシブな 文化芸術の 推進）

とくく 取り組むこと

(1) みんなが 文化芸術を 楽しめるように

- ・ 県立美術館や 県立琵琶湖博物館などで、楽しい 展示会を 開きます。

また、動画などを 使って、いつでも どこでも 文化芸術を 楽しめるようにします。

(2) 子ども・若者の 文化芸術 活動が 充実するように

- ・ 「ホールの子」事業 など、文化芸術を 鑑賞したり、つくったりする 楽しさを 子どもたちに 伝えます。

(3) 障害のある人や 外国の人などが 文化芸術を 楽しめるように

- ・ 障害のある人の 作品の 展示会（ぴかっtoアート展）を 開催します。

(4) 中学校の 部活動を 地域の人たちと 行うために

- ・ 教えてくれる 地域の人 の 情報を まとめ、学校や 地域の人たちが 知りたいことが 分かる 仕組みを つくります。

(5) 県立文化施設を これからも ずっと 使い続けるために

- ・ スケジュール をたてて、県立文化施設を 修理したり、 作りかえたりします。

ひと はぐく ささ ぶんかげいじゅつ みらい

2 人を 育み、 支え、 つなげる（文化芸術を 未来に つなぐ）

とく
取り組むこと

(1) ぶんかげいじゅつ する人 や ひと う つ ひと み そだ 受け継ぐ人を見つ 育てるために

- ・ すば さくひん ひと しがけん ぶんかしょう さくひん はっぴょう 素晴らしい 作品をつくった人などに 滋賀県 文化賞などを おくったり、作品などの 発表が できるように、
おうえん 応援します。

- ・ ぶんかざい まも みらい つた だいじ しゅうり ぎじゅつ えら せんていほぞんぎじゅつ き 文化財を 守り 未来に 伝えるため、大事な 修理の 技術を選 んで、「選定保存技術」として 決めて、
ぎじゅつ み つ ひと そだ その技術を 身に付ける人を 育てます。

(2) ぶんかげいじゅつ おうえんしゃ ふあん ささ ひと み ふ 文化芸術の 応援者（ファン）や 支える人を見つ けたり、もっと増やすために

- ・ こほーる けんりつびじゅつかん けんりつびわこはくぶつかん ぶんかぼらんていあ ちいき ぶんかざい でんとうぶんか びわ湖ホールや 県立美術館、 県立琵琶湖博物館などの 文化ボランティアや、 地域で 文化財や 伝統文化を
まも ひと そだ ふ どりよく 守る人を 育て、 増やす 努力をします。
- ・ しがけん ぶんかげいじゅつ ぽーたるさいと けんない かつどう ひと おこな いべんと しょうかい 滋賀県 文化芸術 ポータルサイトで、 県内で 活動している人や 行われている イベントを 紹介して、
ひと ぶんかげいじゅつ す もっと たくさんの人が 文化芸術を 好きに なって もらえるようにします。

目標を かなえるために、これから なにをするの？

3 滋賀の 魅力を 高める（文化的資産や 文化芸術の 魅力の 再認識 および 価値の 創造）

とく りく む こと

- (1) 地域に 受け継がれてきた 文化的資産を 守り、 次の 世代に 伝え、 活かすために
- 文化財を 調査したり、大切なものとして 指定したり、修理して 保存します。また、埋まっている 文化財を 守ったり、文化財についての 情報を みんなに 分かりやすく 伝えます。
- (2) アール・ブリュット※3や 障害のある人などが つくった 作品の 素晴らしさを 伝えるために
- 県立美術館では、「アール・ブリュット」と呼ばれる 作品を 集めています。
- いつでも 作品を 鑑賞できる コーナーを作ったり、特別な 展覧会を 開催したりして、
- 滋賀県 ならではの 大切な 文化芸術として、その魅力を たくさんの人に 伝えます。
- (3) さまざまな 分野と 協力して 地域の 魅力を 高めるために
- 文化的資産を 紹介して、滋賀県に たくさんの人を 呼んだり、滋賀の 歴史や 文化のある 場所で、映画をとる ことを おすすめしたり、いろいろな分野と 協力して 盛り上げます。

※3 アール・ブリュットは、学校で 習う 絵の描き方に こだわらず、自分だけの 方法で つくった 作品のこと。

その5

もくひょう

目標を かなえるために、これから なにをするの？

もくひょう すうじ 目標とする数字

こうもく 項目	さくていじ 策定時（令和7年度）	もくひょうち れいわ ねんど 目標値（令和12年度）
① ぶんかげいじゅつ かつどう ばしょ じゅんび おも ひと わりあい 文化芸術 活動が できる場所や 準備が そろっていると 思う 人の割合	37.9% ぼーせんと	50.0% ぼーせんと
② たいけんがっこう とうろく だんたい かず 「しがこども 体験学校」に 登録した 団体の数	190団体 だんたい	220団体 (令和11年度目標) だんたい
③ しょうがいしゃとう ぶんかげいじゅつかつどう ささ きよてん じぎょう きょうりよく しまち かず 「障害者等の文化芸術活動を支える拠点づくり事業」と 協力した ことがある 市町の数	8市町 しまち	13市町 しまち
④ ぶんかげいじゅつ かつどう かず しがけん おうえん じぎょう かず 文化芸術 活動の数 （滋賀県が 応援している 事業の数）	245件 けん	300件 けん
⑤ しがけん げいじゅつぶんかい こうぼてん さくひん だん さいみまん ひと かず 滋賀県 芸術文化祭の 公募展に 作品を 出す 18歳未満の 人の数	77人 にん	93人 にん
⑥ ぶんかボランティア かず けんりつびじゅつかん ぼらんていあ こほーる げきじょうさぽーたー 文化ボランティアの数 （県立美術館 ボランティア、 びわ湖ホール 劇場サポーターなど）	577人 にん	690人 にん
⑦ じばん す ちいき ぶんかげいじゅつ おも ひと かず 自分が 住んでいる 地域に すてきな 文化芸術があって、 すごいと思う 人の数	82.4% ぼーせんと	85.0% ぼーせんと
⑧ ちいき ぶんかげいじゅつ かんこう きょういふ かつどう いっしょ おこ おも ひと かず 地域で 文化芸術が 観光や 教育など いろいろな 活動と 一緒に 行われていると 思う人の数	76.3% ぼーせんと	90.0% ぼーせんと

かんみん れんけい ぶんかげいじゆつかつどう しえん しく
官民 連携 による 文化芸術活動を 支援する 仕組み づくり

いっしょ と く
みんなで 一緒に 取り組むこと

- ぶんかげいじゆつ ひと かつどう おうえん ひと やくだ じょうほう せいり
・文化芸術を する人と その活動を 応援する人を つないだり、役立つ 情報などを 整理します。
- ぶんかげいじゆつ かつどう けいかく かつどう たす ひと ふ
また、文化芸術 活動を 計画したり、 みんなが 活動しやすいように 助けてくれる人を 増やします。
- ぶんかげいじゆつ ひと ぶんかげいじゆつ たす しごと ひと ぶんかげいじゆつ ひと かね ひつよう
・文化芸術を する人と 文化芸術を 助ける 仕事をする人を つないだり、文化芸術を する人にお金や 必要なものを
だ おうえん けんない ぶんかげいじゆつ おうえん しく つく
出して 応援し、 県内の いろいろな ところで 文化芸術を 応援する 仕組みを 作ります。

たと とりくみ
例えば、このような 取組を します



ちゃ たいけん ようす
お茶を たてる 体験の 様子



ほーる こ じぎょう ようす
「ホールの子」事業の 様子



ぶんかげいじゆつ かつどう そうだん
文化芸術の 活動を 相談できるところ



Event [イベント]
ほーむぺーじ ぶんかげいじゆつ いべんと しょうかい
ホームページで 文化芸術の イベントを 紹介

その6

基本方針を ^{すす}進めるために、なにをするの？

^{きょうりよく}協力して ^{いっしょ}一緒に ^{とく}取り組むこと

^{ぶんかげいじゅつ}文化芸術を ^{もあ}盛り上げるため、^{しがけん}滋賀県は、^{ぶんかしせつ}文化施設・^{がっこう}学校、^{ふくしせつ}福祉施設などと ^{きょうりよく}協力して、^{いっしょ}一緒に ^{とく}取り組みます。

^たその他のこと

^{まいとし}毎年、この基本方針に ^{きほんほうしん}書いてあることが ^かきちんとできているか、できていないことは ^{しら}どんなことかなどを調べて、
^{きほんほうしん}基本方針に ^か書いてある ^{ないよう}内容について ^{はなあ}話し合い、^{ひつよう}必要な ^{とりくみ}取組を ^{おこな}行います。

^{たの}みんなが ^{ぶんかげいじゅつ}楽しめる ^{ちから}文化芸術の ^{ちから}力で
^{げんき}元気 ^{いっぱい}いっばいで ^{こころ}心が ^{しあわ}幸せになれる ^{しが}滋賀
^{めざ}を目指して、^{とりくみ}取組を ^{すす}進めていきます。